授業科目	健康情報処理実習					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	岡本　正宏						
授業概要	この実習では、アンケート調査の一連の手順、具体的には、食に関わるアンケート調査票の作成、実施、集計、分析、報告書の作成を通して、栄養学研究または、実践活動をする上で必要な統計的手法および得られた健康情報の表現・伝達方法について学びます。また、データベースの作成、分析についても実習を通して学びます。						
授業形態	講義・実習			授業方法	ICT 活用による講義（反転授業含む）・演習		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．　アンケート調査の一連の流れを説明できる。（DP-１１） 2．　データの種類について説明できる。（DP１-1） 3．　仮説検定について説明できる。（DP１-1） 4．　栄養学研究で得られたデータについて、適切な統計的処理方法を用い説明できる。（DP２-１） 5．　健康情報に関し、分かりやすく表現・伝達できる。（DP5-1） 行動目標全てを達成している。
理想的レベル	行動目標全てを達成し、かつこれらを応用することができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト	40%	
レポート	40%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	NT21407J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
1．「健康情報処理論」で学んだことを振り返る。 2．指定されたオンライン動画コンテンツを閲覧し理解を深める。 3．授業での課題提出および操作復習を行う。	0

授業計画	
第 1 回	テーマ：Excel を用いたデータベースの作成、検索・抽出 Excel 関数を用いて検索条件設定から条件を満たすデータを抽出するまでの一連の操作
第 2 回	テーマ：データベースソフト(Access)の基本操作（１）

	テーブル、クエリ、フォーム、レポートの関係、Excel を用いたデータベースとの違い
第 3 回	テーマ：データベースソフト(Access)の基本操作（２） テーブル、クエリ、フォーム、レポートを用いたデータベースの作成・解析法（基礎編）
第 4 回	テーマ：データベースソフト(Access)の基本操作（３） テーブル、クエリ、フォーム、レポートを用いたデータベースの作成・解析法（応用編）
第 5 回	テーマ：データベースソフト(Access)の操作（４） テーブル、クエリ、フォーム、レポートを用いたデータベースの作成・解析法（応用編）
第 6 回	テーマ：データの統計処理 アンケート調査方法 度数分布表とヒストグラム、箱ヒゲ図
第 7 回	テーマ：２つのデータの関係(記述統計のまとめ) 散布図、相関係数、回帰直線 エネルギー残差法
第 8 回	テーマ：確率と確率分布および母集団平均の推定 確率分布、離散分布、連続分布 母集団と標本、母平均の区間推定
第 9 回	テーマ：仮説検定 2 群の平均値の差の検定、対応のある平均値の差の検定 分析ツールおよびその他のアドインツールの活用
第 10 回	テーマ：仮説検定 2 群の平均値の差の検定、対応のない平均値の差の検定 分析ツールおよびその他のアドインツールの活用
第 11 回	テーマ：仮説検定 適合度・独立性の検定、クロス集計 分析ツールおよびその他のアドインツールの活用
第 12 回	テーマ：食生活に関する口頭発表準備（班単位） 班分け（5～6 名で 1 班)、テーマ設定 データ
第 13 回	テーマ：食生活をテーマとした口頭発表準備（１） 発表内容の検討、スライドの作成

第 14 回	テーマ：食生活をテーマとした口頭発表準備（２） 発表内容の検討、スライドの作成
第 15 回	テーマ：食生活をテーマとした口頭発表 口頭発表および相互評価
テキスト	授業時に配布
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	● Excel によるアンケート分析（東京図書） ● Excel ピボットテーブル：データ集計・分析の「引き出し」が増える本（翔泳社） ● よくわかる統計学　介護福祉・栄養管理データ編（東京図書） ● できる Access 2021　基本編＋活用編　（インプレス） ● 健康を決める力　ヘルスリテラシー　http://www.healthliteracy.jp/
課題に対するフィードバックの方法	課題は、配付資料、ノートを参照しながら実施。自分で分かり易いノートを作成すること。 食生活に関するプレゼンテーションは、5，6 人の班に分かれて行い、相互評価を行います。
学生へのメッセージ・コメント	高校で学ぶ記述統計の知識に加え、「健康情報処理論」で学んだ知識、Office 系ソフト（Word・Excel（ピボットテーブルを含む）・PowerPoint・Access）の操作を前提とします。 自分で課題に取り組み、分からないことはクラスメイトと協力し合って解決してください。